

労働災害をバーチャル体験！

「セーフマスター」シリーズは、VR技術による“錯覚”を体験できる装置です。

事故に巻き込まれる“錯覚”を体験することで、危険に対する注意力を高めます。



労働災害疑似体験VRシステム

セーフマスター

～はさまれ・巻き込まれ災害編～

～はさまれ・巻き込まれ災害編～

製造現場で起こりやすいとされる「はさまれ・巻き込まれ」による事故を再現。“CGの手”を“自分の手”と錯覚し、この事故をVR体験できます。

開発の背景

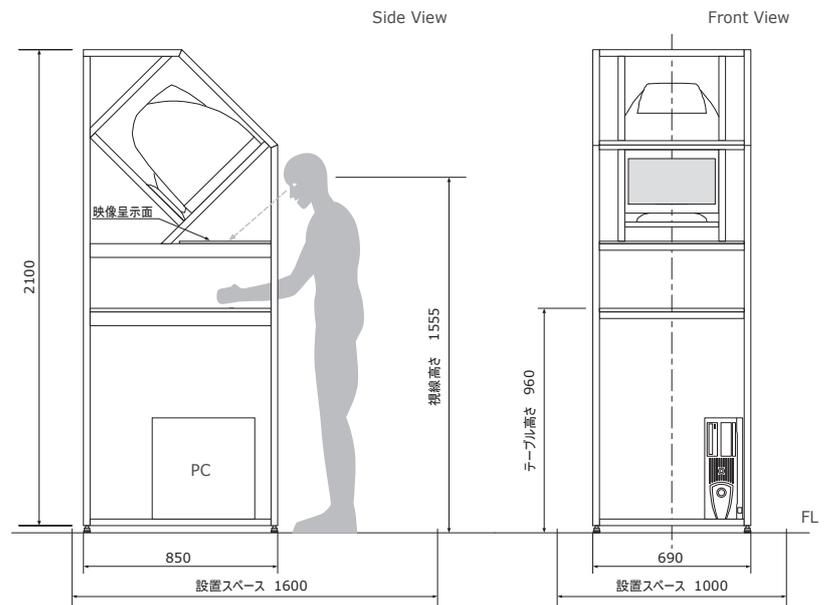
製造現場における労働者の安全の確保をより一層推進するため、労働安全衛生法が改正されました。そこで、危険予知能力および安全バランスの持続能力を向上させる本システムが考案されました。

機器構成

PC OS : Windows7以降
 CPU : PentiumIV2.0GHz 以上
 メモリ: 512MB 以上
 グラフィックボード:
 nVIDIA Quadro FX シリーズ

CRTモニター
 ステレオ・スピーカ
 アンプ
 液晶シャッターメガネ
 エミッタ
 筐体 (ミラー・フレーム)
 ソフトウェア (オメガスペース)

※本製品は弊社のVR空間構築・体験ソフトウェア「オメガスペース」に対応しています。



事故体験の流れ

- ① CRTモニターに表示された映像がミラーに投影されます
- ② ユーザーは自分の手を動かすようにCGの手を操作し、作業を疑似体験できます
- ③ 危険領域にCGの手が近づくと、リアルな事故が発生します
- ④ ユーザーは自分の手が事故に巻き込まれる“錯覚”を引き起こし、臨場感のある“ヒヤリ・ハット”を体験できます

主な応用分野

- ・製造現場における労働災害防止の教育研修
- ・新たに導入する設備、技術、作業の危険・有害性の予測
- ・過去の労働災害事例の分析
- ・その他安全管理に係わる各種シミュレーション

製品仕様

解像度	1280 ドット ×1024 ドット
消費電力	600W
外形寸法	690mm(W)×850mm(D)×2250mm(H) (※突起部含まず)
総重量	約 80kg

設置環境

設置面積	本体設置スペースとして 1000mm(W)×1600mm(D) が必要です
動作環境	温度5℃～35℃、湿度20%～80%

※本システムは、早稲田大学河合隆史教授により開発された技術（特許出願済）を基盤にしております。

開発・販売

お問い合わせ

〒221-0835
 横浜市神奈川区鶴屋町 2-20-1YTUビル
 株式会社 ソリッドレイ研究所
 URL www.solidray.co.jp

TEL 045-324-6841
 FAX 045-324-6925
 E-mail pro@solidray.co.jp